

# 団地化と団結力で築いた「つや姫の村」 ～ 「水」「地」「人」の力を携えた「つや姫」の匠たち ～

## つや姫ヴィラージュ（寒河江市）

### 1 受賞者の概要

平成24年5月に組織化した「つや姫ヴィラージュ」は、点在する「つや姫」生産ほ場を、同一の土壌条件を持つ良食味米生産地域に団地化し、統一した肥培管理により品質の安定と良食味米の生産に取り組み、ブランド産地の確立を目指している。

### 2 特色ある活動

#### (1) 「つや姫」栽培水田の団地化と拡大

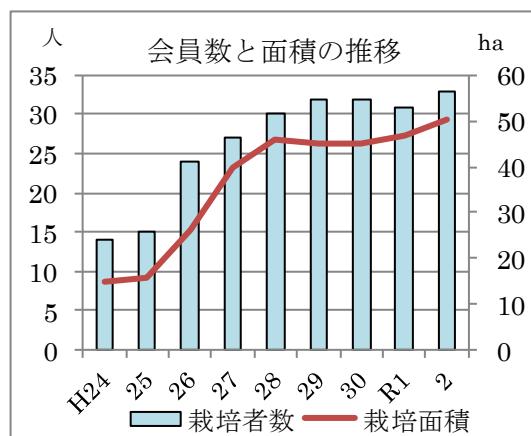
平成24年に、個人13名と1団体、約15haでスタートし、その後、会員数、面積ともに年々増加。令和2年には個人31名と2法人、面積は50.4haにまで拡大し、活動の範囲を広げている。



#### (2) 一等米比率100%を継続する基本技術の徹底

団地化により水利用の効率化を図りつつ、生産者ごとの生育調査や、土壌診断結果に応じた施肥対応を行っている。また、研修会の開催やほ場巡回、団地化によるメリットを生かした水田を目前にした情報交換を随時行い、生育に応じた栽培管理の徹底を図っている。

こうした努力により、組織化以来一等米比率100%を継続するとともに、「山形の米日本一運動本部」主催の食味コンクールで2年連続最高賞（県知事賞）受賞等の上位入賞に繋がっている。また、こうした高品質生産が、独自の高価格商品の販売として反映されることで、会員個々の経営改善に結び付いている。



#### (3) 課題解決に向けた新技術の導入・検討

地元JA、肥料メーカーの協力のもと、専用肥料を開発し、秋落ちによる減収の改善に繋げている。また、ドローンを用いた肥料散布により作業効率化を図るとともに、山形県農業総合センターと共に衛星画像を利用した追肥判定技術の実証を行うなど、新たな技術の試行と導入に取り組んでいる。

#### (4) 学校教育や福祉施設への貢献、地域との交流

組織を立ち上げた当初から地元小学校の総合学習における米作りの授業の指導役になるとともに、「つや姫ヴィラージュサポーター」を広く募集し、農作業や環境美化活動等とともにすることで、米作りの大切さや大変さをサポーターをはじめとする消費者と共有している。また、市内福祉施設利用者をイベントに招いて、生産者、サポーター、地域学童等との交流の機会を提供するなど、地域貢献にも意欲的に取り組んでいる。

### 3 今後の発展方向

高齢化や遊休農地の増加といった地域農業の課題がある中で、これまでヴィラージュで培われた栽培技術の後継者及び地域全体への継承に向けた期待は大きい。GAP認証や新たな栽培拠点を設ける等の取組みを進めながら、地域全体の稲作、そして農業を牽引していく。